

伊勢広域環境組合
ごみ処理施設整備・運営事業

審査講評

令和5年6月

伊勢広域環境組合総合評価審査委員会

目 次

1 事業概要	1
(1) 事業名	1
(2) 業務実施場所	1
(3) 発注者	1
(4) 施設概要	1
2 最優秀提案者選定までの経過	2
(1) 入札の方法	2
(2) 事業者選定の手順	2
(3) 最優秀提案者選定までの経過	3
3 審査委員会	4
(1) 審査委員会の設置	4
(2) 審査委員会の開催経過	4
4 審査結果	5
(1) 応募者	5
(2) 入札参加資格審査	5
(3) 基礎審査	5
(4) 最優秀提案者の選定	5
5 審査講評	7
(1) 各評価項目の講評	7
(2) 審査講評	10

1 事業概要

(1) 事業名

伊勢広域環境組合ごみ処理施設整備・運営事業

(2) 業務実施場所

三重県伊勢市西豊浜597番地 1 ほか

(3) 発注者

伊勢広域環境組合 管理者 鈴木 健一

(4) 施設概要

本件施設の概要は、表1に示すとおりである。

表1 本件施設の概要

項目	概要	
事業実施者の業務及び期間	設計・建設業務 : 事業契約締結日の翌日から令和9年9月まで 運営・維持管理業務 : 令和9年10月から令和30年3月まで	
本 件 施 設	エネルギー回収施設	処 理 対 象 物 : 可燃ごみ マテリアルリサイクル推進施設で生成される破砕可燃物 マテリアルリサイクル推進で生成される選別可燃物 処 理 方 式 : ストーカ式 施 設 規 模 : 203 t/日 (101.5 t/日×2 炉)
	マテリアルリサイクル推進施設	処 理 対 象 物 : 粗大ごみ 缶・金属類 (スプレー缶含む) 小型家電 資源びん ガラス・くずびん類 陶磁器類 乾電池 蛍光管 ペットボトル プラスチック (容器包装・製品) 処 理 方 式 : 破砕、選別、圧縮梱包 施 設 規 模 : 粗大ごみ、缶・金属類、スプレー缶、 小型家電 15t/日 資源びん 6 t/日 ガラス・くずびん類、陶磁器類 3 t/日 乾電池 0.5t/日 蛍光管 0.5t/日 ペットボトル 2.5t/日 プラスチック (容器包装・製品) 7 t/日
	付帯施設／付帯設備	計量棟、駐車場、雨水調整池、構内道路、門扉、囲障、植栽等その他関連する施設や設備等
供 用 開 始	令和9年10月	

2 最優秀提案者選定までの経過

(1) 入札の方法

入札方法は、地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号。）第 167 条の 12 に規定する総合評価落札方式による指名競争入札により実施した。

(2) 事業者選定の手順

事業者選定の手順は図 1 のとおりである。

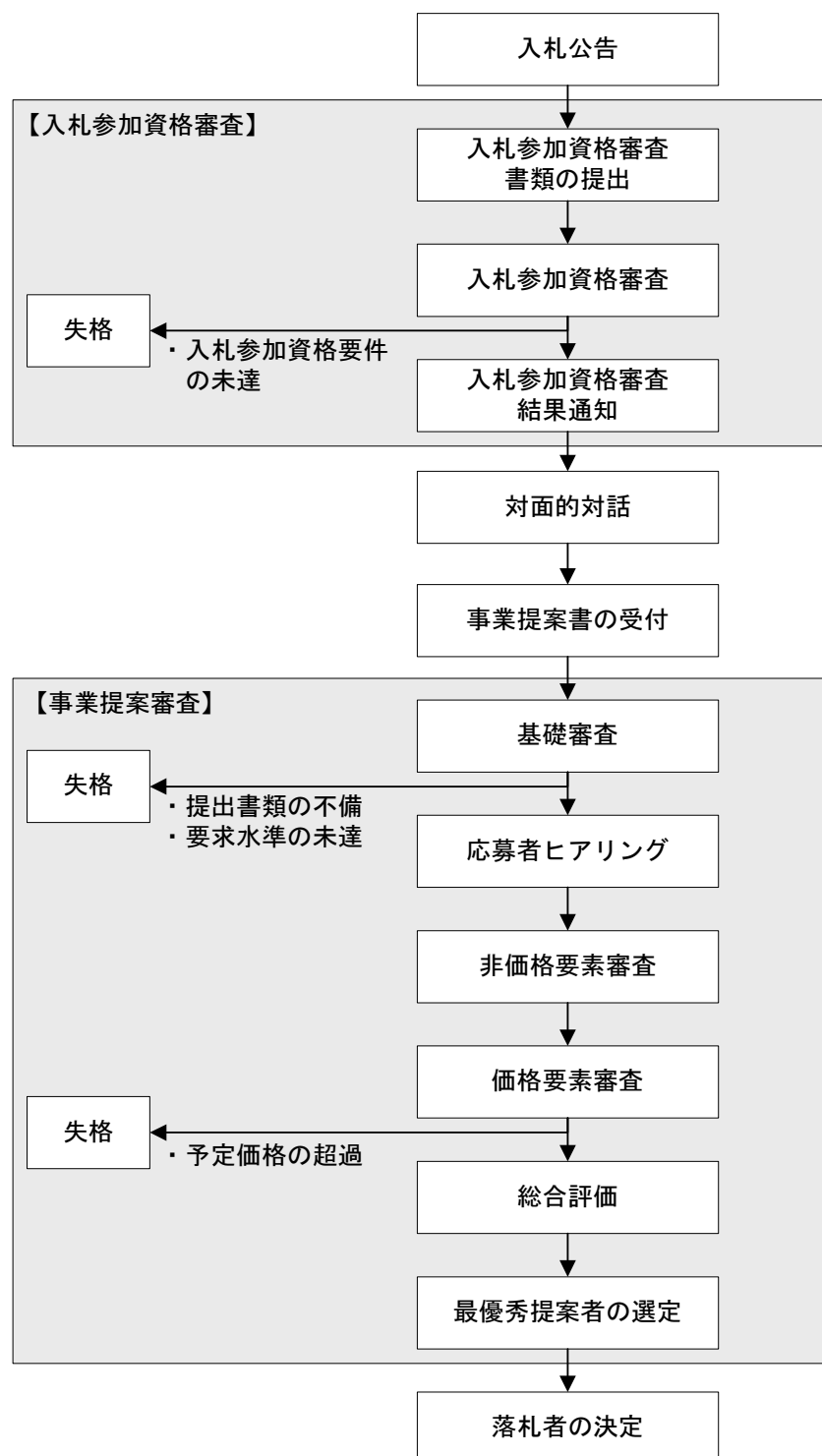


図 1 事業者選定の手順

(3) 最優秀提案者選定までの経過

最優秀提案者選定までの経過は、表2のとおりである。

表2 最優秀提案者選定までの経過

日 程	内 容
令和4年9月12日(月)	実施方針及び要求水準書(案)の公表
令和4年9月22日(木)	実施方針等に関する質問・意見の受付期限
令和4年10月14日(金)	実施方針等に関する質問・意見への回答公表
令和4年11月14日(月)	入札公告及び入札説明書等の公表
令和4年11月22日(火)	入札説明書等の修正版公表
令和4年11月25日(金)	第1回入札説明書等に関する質問受付期限 (入札参加資格に関する質問)
令和4年12月2日(金)	第1回入札説明書等に関する質問受付期限 (入札参加資格以外に関する質問)
令和4年12月12日(月)	第1回入札説明書等に関する質問回答の公表 (入札参加資格に関する質問) 入札説明書等の修正版公表
令和4年12月19日(月)	第1回入札説明書等に関する質問回答の公表 (入札参加資格以外に関する質問) 入札説明書等の修正版公表
令和5年1月13日(金)	入札参加資格審査書類受付期限
令和5年1月20日(金)	入札参加資格審査結果の通知・応募者名の交付
令和5年1月23日(月)	入札説明書等の修正版公表
令和5年2月3日(金)	対面的対話
令和5年2月10日(金)	第2回入札説明書等に関する質問受付期限
令和5年2月27日(月)	第2回入札説明書等に関する質問回答の公表
令和5年4月7日(金)	事業提案書等入札書の受付期限
令和5年6月2日(金)	最優秀提案者の選定

3 審査委員会

(1) 審査委員会の設置

組合は、本業務を総合評価落札方式で実施するに際し、諸基準の策定等に関して協議及び検討を行うとともに事業提案内容の審査を行うことを目的に、学識経験者を含む委員で構成される伊勢広域環境組合総合評価審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置した。なお、審査委員会の委員構成は表3のとおりである。

表3 審査委員会の委員構成

委員名	所属・役職等
◎深草 正博	皇學館大学 名誉教授
○中西 栄徳	三重大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 准教授
荒井 喜久雄	公益社団法人全国都市清掃会議 技術指導部長
古川 万	公益財団法人三重県建設技術センター 常務理事
佐藤 弘之	三重県 環境生活部 廃棄物対策局 廃棄物・リサイクル課長 (令和5年3月31日まで) 三重県 環境生活部 環境共生局 次長 (令和5年4月1日より)

※ ◎は委員長、○は副委員長

(敬称略・順不同)

(2) 審査委員会の開催経過

審査委員会の開催経過は、表4のとおりである。

表4 審査委員会の開催経過

日程	内容
令和4年5月26日(木)	第1回 審査委員会 (本事業の概要及び委員会スケジュールの把握)
令和4年6月21日(火)	第2回 審査委員会 (実施方針(案)、要求水準書(案)及び落札者決定基準書(案)の検討)
令和4年8月26日(金)	第3回 審査委員会 (落札者決定基準書(案)の検討)
令和4年10月13日(木)	第4回 審査委員会 (落札者決定基準書(案)の検討)
令和5年2月3日(金)	第5回 審査委員会 (入札参加資格審査結果の確認、応募者審査実施方法の確認)
令和5年6月2日(金)	第6回 審査委員会 (基礎審査結果の承認、応募者ヒアリング、非価格要素審査、価格要素審査、総合評価、最優秀提案者の選定、審査講評)

4 審査結果

組合及び審査委員会は、落札者決定基準書に従い以下のとおり審査を実施した。

(1) 応募者

表8に示す2者の応募者から入札参加資格申請書類が提出された。

なお、審査委員会による審査にあたっては、審査の公平性を期すため、提案書等全ての書類において応募者の企業名を伏せ、応募者名で審査を実施した。

表8 応募者一覧

応募者名	ジングウツツジ	イソヒヨドリ
代表企業	JFE エンジニアリング株式会社 名古屋支店	荏原環境プラント株式会社 中部支店
構成員	JFE 環境サービス株式会社 メタウォーター株式会社 営業本部 中日本営業部	株式会社大原鉄工所
協力企業	りんかい日産・山口・中広特定建設工事共同企業体 （りんかい日産建設株式会社 名古屋支店） 株式会社山口工務店 有限会社中広建設	株式会社フジタ 三重営業所 株式会社伊藤工務店 吉川建設株式会社 株式会社堀崎組 株式会社西邦建設

(2) 入札参加資格審査

組合は、応募者から提出された入札参加資格申請書類により入札参加審査を行い、各応募者が基礎審査項目を満たしていることを確認した。

(3) 基礎審査

組合及び審査委員会は、応募者から提出された事業提案書により基礎審査を行い、各応募者が基礎審査項目を満たしていることを確認した。

(4) 最優秀提案者の選定

審査委員会の審査により決定した非価格評価点、価格評価点及び総合評価点は表9のとおりであり、この結果から審査委員会は、ジングウツツジを最優秀提案者として選定した。

表9 審査結果

	配点	ジングウツツジ	イソヒヨドリ
非価格評価点	60 点	47.80 点	45.10 点
価格評価点	40 点	40.00 点	40.00 点
総合評価点	100 点	87.80 点	85.10 点

なお、非価格要素審査及び価格要素審査の結果の詳細は、表10及び表11のとおりである。

表10 非価格要素審査の結果

項目	非価格点（点）		
	配点	ジングウツツジ	イソヒヨドリ
1. 安全・安心に配慮した施設	15	11.55	10.85
(1) 全体配置計画	2	1.70	1.30
(2) 公害防止対策	①設計での対策	2	1.40
	②環境管理方法	3	2.25
(3) 運転管理	①事故防止機能	4	3.20
	②事故発生時対応	2	1.40
(4) 施工計画	2	1.60	1.60
2. 構成市町で発生する一般廃棄物を安定的に処理できる施設	9	6.50	6.30
(1) 安定稼働	①ごみ量・ごみ質変動対策	3	1.95
	②処理システム	3	2.25
(2) 運転体制	2	1.50	1.50
(3) 経営計画	1	0.80	0.75
3. 経済性・効率性に優れた施設	4	3.40	3.00
(1) 施設長寿命化	4	3.40	3.00
4. 資源とエネルギーを高効率に回収し有効利用を図ることが可能な施設	4	3.40	3.40
(1) 資源有効活用	4	3.40	3.40
5. 処理に伴う二酸化炭素等の排出量の低減が図られた環境に優しい施設	7	6.55	5.95
(1) 地球温暖化対策	3	2.55	2.40
(2) エネルギーの有効利用	4	4.00	3.55
6. 地域に開かれ親しまれる施設	6	4.95	4.45
(1) 環境学習	①施設見学	2	1.50
	②見学以外	1	0.80
(2) 景観	2	1.80	1.40
(3) 情報発信	1	0.85	0.70
7. 地域社会に貢献できる施設	10	7.35	7.45
(1) 地域貢献	①地元企業の活用	4	2.80
	②地元雇用、人材の育成	2	1.30
(2) 利便性の向上	3	2.40	2.10
(3) 資源・エネルギーの地産地消	1	0.85	0.85
8. 災害に強く災害時においても地域に貢献できる施設	5	4.10	3.70
(1) 早期復旧	2	1.70	1.60
(2) 避難所機能	3	2.40	2.10
合計	60	47.80	45.10

表11 価格要素審査の結果

項目	ジングウツツジ	イソヒヨドリ
入札価格（税抜）	43,352,000,000 円	43,300,000,000 円
価格点	40.00 点	40.00 点

定量化限度額：43,357,592,000 円（税抜）

5 審査講評

(1) 各評価項目の講評

業務提案に関する各評価項目についての講評は、表 11 のとおりである。

表11 各評価項目の講評 (1/3)

評価項目		講評
1. 安全・安心に配慮した施設		
(1) 全体配置計画		<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、安全な見学者歩行動線や災害廃棄物車両を考慮した動線計画において具体的で優れた提案がなされていた。 ・ジングウツツジの渋滞時を考慮した配置計画を高く評価した。
(2) 公害防止対策	①設計での対策	<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、公害防止対策において豊富な実績に基づく具体的で優れた提案がなされていた。
	②環境管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、工事中の公害防止対策、情報発信、排ガス基準値遵守対策について具体的で優れた提案がなされていた。 ・ジングウツツジのより具体的かつ有効な公害防止対策を高く評価した。
(3) 運転管理	①事故防止機能	<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、火災の予防・早期発見対策において具体的で優れた提案がなされていた。 ・ジングウツツジの火災対策における多くの独自技術を高く評価した。
	②事故発生時対応	<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、緊急対応マニュアル策定や防災訓練において具体的で優れた提案がなされていた。 ・イソヒヨドリの夜間の火災監視体制を高く評価した。
(4) 施工計画		<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、施工計画や工事遅延リスク回避策において具体的で優れた提案がなされていた。
2. 構成市町で発生する一般廃棄物を安定的に処理できる施設		
(1) 安定稼働	①ごみ量・ごみ質変動対策	<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、ごみ質・ごみ量の変動対策において具体的で優れた提案がなされていた。 ・イソヒヨドリの将来のごみ量減少の対策を高く評価した。
	②処理システム	<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、安定稼働させるための自動化機能において具体的で優れた提案がなされていた。 ・ジングウツツジのトラブル経験に基づく耐久化設計を高く評価した。
(2) 運転体制		<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、運転管理体制における役割分担や人材育成方法において具体的で優れた提案がなされていた。
(3) 経営計画		<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、セルフモニタリング体制、保険加入、情報発信方法において具体的で優れた提案がなされていた。 ・ジングウツツジの財務バックアップ体制を高く評価した。

表11 各評価項目の講評 (2/3)

評価項目		講評
3. 経済性・効率性に優れた施設		
(1)施設長寿命化		<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、各設備の長寿命化対策において具体的で優れた提案がなされていた。 ・ジングウツツジのライフサイクルコストの縮減方策を高く評価した。
4. 資源とエネルギーを高効率に回収し有効利用を図ることが可能な施設		
(1)資源有効活用		<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、金属類の回収率向上方策において具体的で優れた提案がなされていた。
5. 処理に伴う二酸化炭素等の排出量の低減が図られた環境に優しい施設		
(1)地球温暖化対策		<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、温室効果ガス排出量削減方策において具体的で優れた提案がなされていた。 ・ジングウツツジの建築設備の省エネ・創エネ方策を高く評価した。
(2)エネルギーの有効利用		【定量化審査】
6. 地域に開かれ親しまれる施設		
(1)環境学習	①施設見学	<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、処理の流れに沿った見学ルートや展示内容の更新性において具体的で優れた提案がなされていた。 ・イソヒヨドリの身近な地域環境を学べる工夫を高く評価した。
	②見学以外	<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、イベント開催や来場空間の創出において具体的で優れた提案がなされていた。 ・ジングウツツジの地域住民が集えるくつろぎの空間創出方策を高く評価した。
(2)景観		<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、圧迫感低減の工夫において具体的で優れた提案がなされていた。 ・ジングウツツジのシンボリックな外観を高く評価した。
(3)情報発信		<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに、ホームページを活用した情報発信方法において具体的で優れた提案がなされていた。 ・ジングウツツジの地元メディア等を活用した情報発信方法を高く評価した。

表11 各評価項目の講評 (2/3)

評価項目		講評
7. 地域社会に貢献できる施設		
(1) 地域貢献	①地元企業の活用	<ul style="list-style-type: none"> 両グループともに、設計・建設時から運営・維持管理期間を通して恒常的な地元企業への発注において具体的で優れた提案がなされていた。 イソヒヨドリの多くの企業への多分野に渡る発注計画を高く評価した。
	②地元雇用、人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 両グループともに、幅広い人材の雇用計画において具体的で優れた提案がなされていた。 イソヒヨドリの地元人材の雇用計画を高く評価した。
(2) 利便性の向上		<ul style="list-style-type: none"> 両グループともに、混雑緩和対策において具体的で優れた提案がなされていた。 ジングウツツジの受付及び荷下ろしに係る同時対応の方策を高く評価した。
(3) 資源・エネルギーの地産地消		<ul style="list-style-type: none"> 両グループともに、将来のエネルギー等利活用における協力体制や地元産資材・再生品の活用計画において具体的で優れた提案がなされていた
8. 災害に強く災害時においても地域に貢献できる施設		
(1) 早期復旧		<ul style="list-style-type: none"> 両グループともに、災害時の応援人員派遣体制において具体的で優れた提案がなされていた。 ジングウツツジの災害廃棄物処理を見据えた余裕のある処理能力の設定を高く評価した。
(2) 避難所機能		<ul style="list-style-type: none"> 両グループともに、災害時のエネルギー確保において具体的で優れた提案がなされていた。 ジングウツツジの充実した避難所機能を高く評価した。

(2) 審査講評

今回、入札に参加した各応募者の提案は、本業務の目的や内容を十分理解し、組合の発注する要求水準書を上回る提案内容であった。各応募者においては、提案に係る労力及び費用負担が多であったことが想定されるなか、短期間で事業提案書等を取りまとめた応募者の熱意と技術力に敬意を払うとともに、深く感謝する。

非価格要素審査及び価格審査においては、全ての審査項目に対して厳正なる審査を行った結果、ジングウツツジの提案が基準を上回る内容であると評価し、最優秀提案者とした。

また、審査委員会の審議において、同事業者の提案内容に対して次に示す要望事項が挙げられた。

- 地域貢献は、組合や構成市町と共通認識の上で取り組むこと。また、事業期間を通じて地元企業の活用や地元住民の雇用といった地域振興の更なる拡大に努めること。
- 組合や構成市町、地域住民からの改善に係る提案に対しては、設計、建設及び運営の各段階を通じて真摯な対応に努めること。特に、見直しが必要と認められる事項は、積極的に改善を図ること。
- 組合や構成市町へ適切な情報提供を行うとともに、地域住民に対しては、丁寧な説明と対話を基本とし、地域との良好な関係の構築と、その維持に努めること。
- 将来にわたって安心・安全で安定的に一般廃棄物を処理する施設として、要求水準書及び事業提案書の内容について確実に履行するとともに、組合や構成市町と緊密に連携を図ること。
- ライフサイクルコストの更なる低減を図るとともに、廃棄物の有効利用や効率的なエネルギー回収を進めるなど、脱炭素社会の実現に向けて、地域を先導する施設となるよう努めること。
- 周辺地域への配慮や事故防止等の安全対策を徹底するとともに、公害防止基準等を遵守すること。
- 地震や水害等の災害対策に万全を期すとともに、被災時や事故発生時には、迅速な対応に努め、早期復旧を図ること。また、被災時の避難者の受け入れに関しては、組合や構成市町と連携し、柔軟な対応に努めること。
- 工程管理を適切に行い、令和9年10月の供用開始を厳守すること。
- 施設外観は、周辺環境との調和や影響等を十分に考慮して設計・施工し、地域住民に親しまれる施設とすること。

ジングウツツジ（代表企業「JFEエンジニアリング株式会社 名古屋支店」）は、本事業をより良いものとするため、これらの事項について、組合と十分な協議を行い、真摯な対応に努めていただきたい。

組合とジングウツツジ（代表企業「JFEエンジニアリング株式会社 名古屋支店」）は、相互に信頼できるパートナーとして、今後本事業において共に連携し、より質の高い公共サービスを提供するよう期待するものである。

伊勢広域環境組合総合評価審査委員会
委員長 深草 正博